

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第4区分
【発行日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【公開番号】特開2005-297218(P2005-297218A)
【公開日】平成17年10月27日(2005.10.27)
【年通号数】公開・登録公報2005-042
【出願番号】特願2004-112475(P2004-112475)
【国際特許分類第7版】

B 2 9 C 45/26

B 2 9 C 45/76

【F I】

B 2 9 C 45/26

B 2 9 C 45/76

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月14日(2005.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

さらに、監視カメラ部2は、直方体形に形成したケーシング部37を備え、内部には付属回路36(処理部4)を収容するとともに、前部にはイメージセンサ3を有するセンシング部38を所定の角度Rを付けて取付ける。この角度Rを付けることにより、監視カメラ部2を取付けることに伴う横側方への突出を少なくできる。また、センシング部38は、光学筒39を備え、この光学筒39には、前側から、可視光線を遮断するフィルタ部9、レンズ40を順次内蔵するとともに、この光学筒39の後方に、イメージセンサ3を内蔵する。イメージセンサ3としては、省電力化、小型化及び低コスト化の容易なCMOSイメージセンサを用いることが望ましい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

図6に、二次監視処理の処理手順をフローチャートで示す。この二次監視処理は、エジェクタ動作後に行う監視処理であり、これにより、エジェクタが正常に行われたか否かを判別することができる。今、成形機コントローラ5からエジェクタ終了信号が処理部4に付与されれば、処理部4は、撮像開始指令を出力し、発光部8における赤外線発光ダイオード25…を点灯させるとともに、監視カメラ部2を作動させて撮像を開始する(ステップS21)。これにより、発光部8からキャビティ部位Xcに対して赤外線Liが投射され、キャビティ部位Xcで正反射する。また、反射した赤外線Li(正反射光Lr)は、監視カメラ部2のセンシング部38に入光し、イメージセンサ3に結像する。この際、射出成形機M周辺の可視光線はフィルタ部9によりカットされ、反射した赤外線Li(正反射光Lr)のみがイメージセンサ3に結像する。そして、イメージセンサ3から得られる画像データDvは処理部4に付与される。